

平成 30 年 4 月期

横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のピックアップ》

- 性的接触による A 型肝炎の報告が多い状態が続いています。
- 第 15 週にてインフルエンザの報告数が定点あたり 1.00 を下回り、流行は終息しました。

全数把握の対象

【4 月期に報告された全数把握疾患】

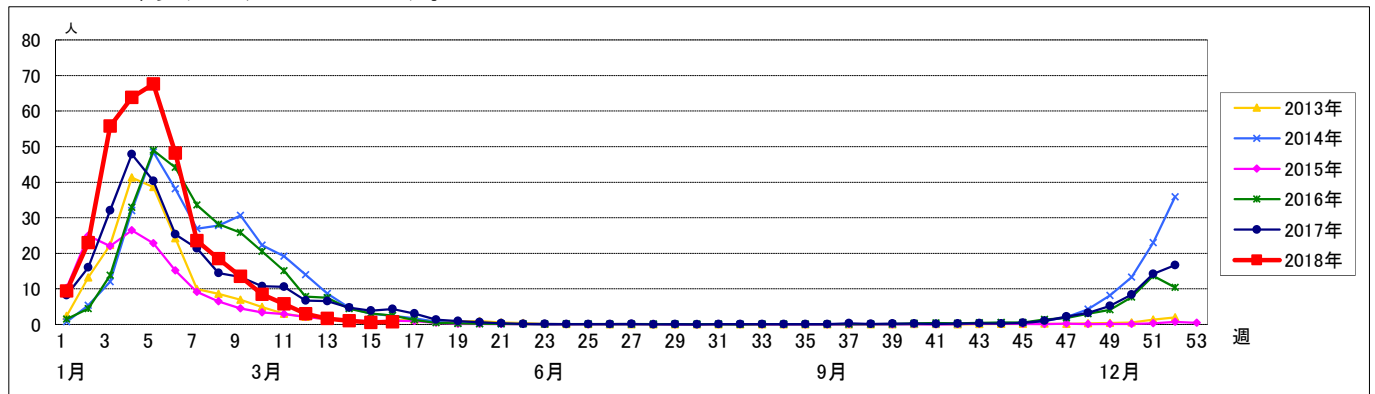
細菌性赤痢	1 件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 件
腸管出血性大腸菌感染症	5 件	後天性免疫不全症候群(HIV 感染症含む)	5 件
E 型肝炎	1 件	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 件
A 型肝炎	5 件	侵襲性肺炎球菌感染症	14 件
デング熱	1 件	水痘(入院例に限る)	2 件
レジオネラ症	4 件	梅毒	18 件
アメーバ赤痢	4 件	播種性クリプトコックス症	1 件
ウイルス性肝炎(E 型肝炎及び A 型肝炎を除く)	1 件	破傷風	1 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4 件	百日咳	5 件
クロイツフェルト・ヤコブ病	1 件		

- 1 細菌性赤痢:無症状病原体保有者の報告が 1 件ありました。バングラデシュでの経口感染と推定されます。
- 2 腸管出血性大腸菌感染症:O157 の報告が 3 件、O111 の無症状病原体保有者の報告が 1 件、O104 の無症状病原体保有者の報告が 1 件ありました。O111 はフィリピンでの経口感染と推定されます。
- 3 E 型肝炎:国内での経口感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 4 A 型肝炎:同性間の性的接触による報告が 4 件、経口感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 5 デング熱:フィリピンでの蚊からの感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 6 レジオネラ症:肺炎型の報告が 4 件あり、感染経路等不明です。
- 7 アメーバ赤痢:インドでの経口感染、インドネシアでの経口感染、国内での詳細不明の性的接触による感染、感染経路等不明の報告がそれぞれ 1 件ずつありました。いずれも腸管アメーバ症でした。
- 8 ウイルス性肝炎(E 型肝炎及び A 型肝炎を除く):タイでの異性間性的接触と推定される B 型肝炎の報告が 1 件ありました。
- 9 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:4 件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 10 クロイツフェルト・ヤコブ病:家族性 CJD の報告が 1 件ありました。
- 11 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: A 群と G 群の報告が 1 件ずつあり、感染経路等不明でした。
- 12 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む):AIDS の報告が 1 件、無症状病原体保有者の報告が 2 件、その他の報告が 2 件あり、いずれも男性でした。4 件は同性間性的接触で、1 件は感染経路等不明でした。
- 13 侵襲性髄膜炎菌感染症:50 歳代の報告が 1 件あり、感染経路等不明でした。
- 14 侵襲性肺炎球菌感染症:幼児で 2 件(ワクチン 4 回接種)、30 歳代および 40 歳代が 3 件(ワクチン接種歴なし 2 件、不明 1 件)、60 歳以上で 9 件(ワクチン接種歴なし 3 件、不明 6 件)の報告がありました。
- 15 水痘(入院例に限る):80 歳以上の 2 件の報告があり、いずれも臨床診断例です。
- 16 梅毒:18 件の報告(無症状病原体保有者 6 件、早期顕症梅毒 I 期 8 件、早期顕症梅毒 II 期 3 件、晩期顕症梅毒 1 件)がありました。12 件は国内での感染で、1 件はインドネシア、5 件は感染地域不明です。男性 14 件、女性 4 件でした。感染経路は、異性間の性的接触が 8 件、同性間の性的接触が 1 件、詳細不詳の性的接触が 4 件、感染経路等不明が 5 件です。
- 17 播種性クリプトコックス症:80 歳代の免疫不全によると推定される報告が 1 件ありました。
- 18 破傷風:創傷感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 19 百日咳:幼児の報告が 4 件(ワクチン接種歴あり 3 件、ワクチン接種歴不明 1 件)、40 歳代の報告が 1 件(ワクチン接種歴不明)ありました。

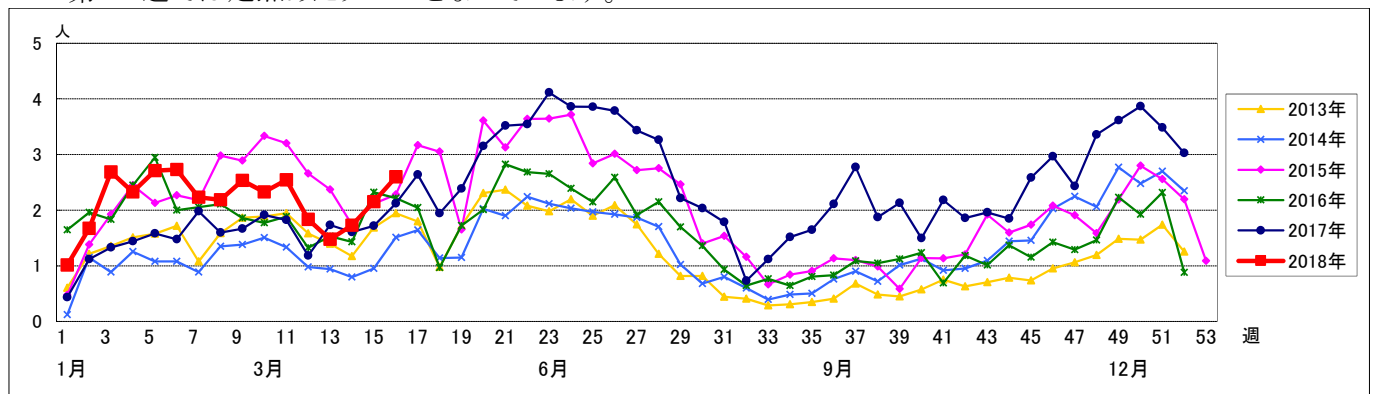
定点把握の対象

平成 30 年 週一月日対照表		
第11週	3月12日	～ 18日
第12週	19日	～ 25日
第13週	26日	～ 4月1日
第14週	4月2日	～ 8日
第15週	9日	～ 15日
第16週	16日	～ 22日

- 1 インフルエンザ: 2017年第46週で1.01にて流行開始し、第51週で定点あたり14.19にて流行注意報発令基準値(10.00)を超え、2018年第3週で55.76となり、警報発令基準値(30.00)を超えました。第5週の67.58をピークとして漸減し、第10週では8.45となり、警報解除基準値(10.00)を下回りました。第15週にて0.55となり、現在は終息しています。



- 2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 2017年第45週頃より増加傾向となり、例年と比べて高値で推移しています。第16週では定点あたり2.60となっています。



3 性感染症:3月

性器クラミジア感染症	男性:23件	女性:27件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:4件	女性:9件
尖圭コンジローマ	男性:8件	女性:2件	淋菌感染症	男性:10件	女性:1件

4 基幹定点週報:

	第11週	第12週	第13週	第14週	第15週	第16週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.67	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	1.00	0.33	0.50	0.50	0.50	1.00

5 基幹定点月報:3月

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	7件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件		

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
 横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>